

1

パブリックコメントとは、何ですか？

《40歳代男性》



声

広報ちとせ12月号で、市民の意見を募集する「パブリックコメント」というものが掲載されていました。

答

パブリックコメントは、市が重要な計画の策定や条例の制定・改正を行うときに実施する「市民参加手続き」の一つです。市民の皆さんから、広く意見を求めることで、行政の透明性が図られるとともに、皆さんのまちづくりへの参加意識が高まることが期待できます。

【広報広聴課広聴係】
☎(24)0108

市は、平成19年4月に、市民協働を進めるため、「みんなで進める千歳のまちづくり条例」を制定し、説明会やアンケート調査、パブリックコメントなどの「市民参加手続き」を行うこととしていました。

パブリックコメントを行うときは、まず、広報ちとせで公募内容や期間などをお知らせし、その後、市役所や各コミセンなどの公共施設や市のホームページで計画案を公表します。

計画案に意見のある方は、公共施設に設置してある意見箱の他、郵送やFAX、メールで意見を述べることができます。

意見の公募結果や寄せられた意見に対する市の考え方は、市のホームページで公表し、最終的な計画がでか上がります。

声のらん

「声のらん」は、主に「市長への手紙・ポスト」や「広報広聴モニター」の声と、その答えをご紹介します。このほかに、皆さんからの一般的な質問などもご紹介いたしますので、疑問に思っていることなどを、お手紙などでお寄せください。ただし、他の市民の方にも参考になる内容を採用させていただくため、全てを掲載することはできません。また、質問の内容を確認する必要上、お手紙には必ず連絡先と名前をご記入ください。【〒066-8686 / 千歳市東雲町2丁目34 / 千歳市企画部広報広聴課 宛】

2

「公設地方卸売市場」は、何をしている所ですか？

《20歳代女性》



声

以前、「千歳市場感謝祭」に行ったとき、「日頃の感謝を込めて、市場開放事業」と看板に書いてありました。普段、公設地方卸売市場は、どのようなことをしているのですか？

答

公設卸売市場では、野菜や果物、魚など、生鮮食料品の競売による取引が行われています。卸売市場には、毎日、市内をはじめとして、近郊や北海道の内外から、さまざまな生鮮食料品が集まってきます。

これらの品物は、卸売業者が競争により、最高の値段を付けて

【公設卸売市場管理係】
☎(24)2709

た買い手に売る「せり売り」や卸売業者と買い手が直接値段を交渉して決める「相対売り」の方法で値段が決まります。

こうして取り引きが決まった品物は、買い手である商店やスーパー、飲食店などに引き渡され、最終的には消費者の皆さんに届けられます。

市場で取り引きされる、1日平均の取扱量は、23トンになります。

公設卸売市場は、さまざまな生鮮食料品を集める役割、せり売りなどで値段を決める役割、買い手を通して品物を市内に配る「流通の拠点」としての役割があり、市民の皆さんの安定した消費生活を支えています。